

2026年 3月23日
浜田 吉博

福山から「Jリーグ」へ 福山シティフットボールクラブ

福山の創成のため、地域にスポーツを通じた町づくり運動を広め、福山を活性化させることに賛同し、今シーズンから『 FUKUYAMA CITY FOOTBALL CLUB 』の CLUB PARTNER になりました。

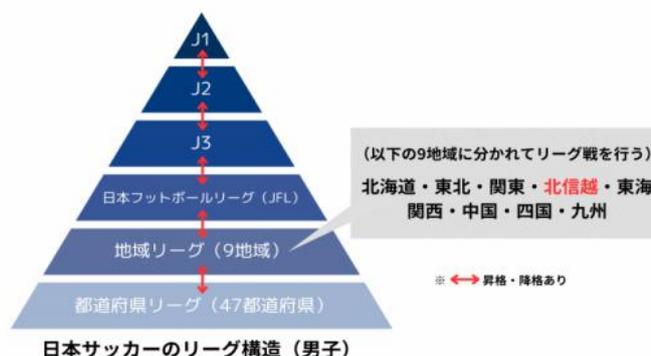
そこで「福山シティフットボールクラブ」をご紹介します。
「福山シティフットボールクラブ」は、福山市をホームタウンとし、備後エリアを中心に活動する社会人サッカーチームです。
「スポーツを通じて活力ある福山の創生に尽力したい」
そのための手法として地域のオンリーワンの存在となり、新たなシンボルとして誇り輝くクラブを目指すことを目的に、2016年(平成28年)2月に創設されました。



薔薇と蝙蝠(コウモリ)を組合せたマーク

当初は 福山SCC の名称で創設され、2019年11月にクラブ名を福山シティFCに改め現在に至っています。
現在の位置付けは

トップリーグである「J1」から数えて「J5」に相当する中国サッカーリーグ(地域リーグ)に加盟しており、2020年から「福山シティFC」のJリーグ参入への挑戦が始まりました。



2022年から「中国サッカーリーグ」に加盟、その年から優勝を続け、JFLに昇格するための「全国地域サッカーチャンピオンズリーグ」に進出はするのですが突破の壁は厚く昇格までにはいたっておりません。

Jリーグ参入に必要なライセンス

Jリーグ昇格にはクラブとして、地域との繋がりや財務面など大変厳しい審査をパスする必要があります。大まかに分かり易い3項目を表現します。

ホームスタジアム	Jリーグスタジアム基準を満たすサッカースタジアムが必要
チームの実力	JFLへの昇格 → JFL 優勝又は2位 → J3
観客動員数(1試合当り)	JFL:2,000人以上 J3:5,000人以上

ここではホームスタジアムについて私感を交えお伝えします。

本格的なJリーグ参入に向けて、スポーツ・スタジアムを核としたまちづくりプロジェクト

「福山市スポーツ&ウェルネスパーク構想」がクラブより発表されています。

福山市にはJリーグスタジアム基準を満たすサッカースタジアム及び陸上競技場が存在せず、

今のままではJリーグライセンスの取得が困難な状況です。

現在、試合会場として利用している「竹ヶ端運動公園陸上競技場」は、Jリーグ基準を満たしておらず

満たすには大規模な改修が必要で多大なる改修費用が必要となります。

それならば「ホームタウンである福山市内にJリーグ基準を満たすサッカー専用スタジアムを新設したい」と考えられています。

スタジアム基準もカテゴリーで大きく違い

J1は15,000人以上、J2は10,000人以上、芝生席は観客席とはみなされない為、椅子席で、

J1は10,000席以上、J2は8,000席以上の座席が必要(ベンチシートは1席あたりの幅を45cm以上)、

J3は原則として5,000人以上メインスタンドに椅子席があることなど

福山シティFCの昇格とともにスタジアムも規模を拡大して行けるよう考えられています。

アクセスがよく福山駅からも近い遊び心のあるスタジアムが出来れば最高です。



2027シーズン JFLに所属し弊社もSUPPORTER応援している

ミネベアミツミSCとの「KAKIHARAダービー」が福山で実現するかもしれません

又、何時の日か、サンフレッチェ広島との「ひろしまダービー」も完成した新スタジアムで

応援できるかもしれません。

以上